

# パッケージマネージャーを使おう

RICORA Programming Team

# はじめに

---

**#RICORA**

- 挨拶文がうだうだ
- 宗教上の理由で強い拘りがある人は好きにやってください

## パッケージマネージャーとは

---

- ソフトウェアのインストール・アップデート・アンインストールを簡単に行うことができるプログラム
- とても便利

# パッケージマネージャーの利点

---

#RICORA

- コマンド1つでアプリのインストール・アップデートができる
- 各パッケージの依存情報をもとに必要なものをインストールしてくれる
  - 前提となるソフトを手動でインストールする必要がない
  - ソフトAをアップデートしたらソフトB, Cが古くて動かなくなつた、ということが起こらない

# パッケージマネージャの紹介

OS別に紹介します

# Windows

---

- Chocolatey
  - 今回はこれを使うよ
- Scoop
  - Chocolateyのライバル
- Windows Package Manager(winget)
  - 最近出たWindows公式パッケージマネージャー
  - まだパッケージの充実度がいまいちなので今回は保留

# Chocolatey

---

- <https://chocolatey.org/install> を見てね
- 4. Get Your Scriptsの3. Install/Deploy Chocolatey internallyにある `Set-ExecutionPolicy` なんとかんたら... のコマンドをコピー
- Windows+Xを押して、なんかメニューが出てくるのでWindows PowerShell (管理者)を選ぶ
- さっきコピーしたやつをペーストして実行(Enter)
- 終わったっぽいメッセージが出てきたら、一旦閉じてもう一度PowerShellを管理者で起動
- `choco install git -y` を実行してGitを入れる

# MacOS

---

- Homebrew

- 今回はこれを使うよ
- とういかこれ以外聞いたことがない
- GUI appもCUI appも両方管理できる
- AppStore以外から入手したappをCUIで管理できる
- 各appは/usr/local/Cellarにインストールされ、/usr/local/binにシンボリックリンクが貼られる
  - 環境が汚れない




# Xcode-Command-line-Tools

---

gitやgccなどのコマンドラインツールを使えるようにするためのツール

Homebrewをインストールする前に導入する必要がある

-  + SpaceでSpotlight検索を呼び出し、`terminal` と打ち込む(Return)
- `xcode-select --install` と打ち込む(Return)
- 入力が求められたらすべて `Y` (Yes)を入力

# Homebrew

- [https://brew.sh/index\\_ja](https://brew.sh/index_ja) を見てね
- インストール の下にある `/bin/bash -c "$(curl -うんたらかんたら_` のコマンドをコピー
- ⌘ + SpaceでSpotlight検索を呼び出し、 `terminal` と打ち込む(Return)
- さっきコピーしたやつをペーストして実行(Return)
- 入力が求められたらすべて `y` (Yes)を入力
- `brew install python` を実行してPythonをインストールする

(※ Apple版のgitはxcode-comannd-line-toolsのインストール時に導入されています)

# パッケージマネージャーの導入

---

#RICORA

- Wikiに詳しく書いてあるのでこっちを参考にして導入してね
  - Windows
    - <https://alg-wiki.tus-ricora.com/あとで>
  - MacOS
    - <https://alg-wiki.tus-ricora.com/書かれる>

## さっそく使ってみよう

---

- 以下のパッケージ(アプリケーション)を入れてみよう
  - Git
  - Python
  - Node.js
  - Hugo
  - VS Code(まだ入れてなければ)

ご清聴ありがとうございました

**#RICORA**